

緑ヶ丘地区 マイスター検定

古代

1 緑ヶ丘地区は、()時代から集落が形成されてきました。

弥生

縄文

古墳

ヒント...50周年記念誌 16 P

2 昭和47年の林・王子遺跡発掘調査で、()が出土しました。

人体装飾付き有孔鱈付土器

深鉢型火焰土器

把手付甕形土器

ヒント...50周年記念誌 16 P



古くは、王子の土地所有者の間では、土器ややじりなどが出土し、耕作に支障をきたすこともあったようです。このように、緑ヶ丘地区は、古代から人々が住み、協働で暮らしてきた豊かな地域でした。

中世

1 緑ヶ丘地区は、睦合西地区()の一部、小鮎地区飯山の一部、南毛利地区温水の一部から構成されました。

林

下古沢

愛名

ヒント...50周年記念誌 17 P

2 王子神社は、昭和11年10月の記録簿によると「()年間に北条時頼が王子権現、王子稻荷の両社を戌亥除けとしてここに建立した」と旧記にあるとされています。

建仁

建長

承久

ヒント...50周年記念誌 17 P

- 3 王子神社の鳥居の礎石は、現在、()の敷地内にあります。元々は、緑ヶ丘小学校校庭付近に王子神社の参道入口があり、古地図にも「鳥井戸」と記されています。

緑ヶ丘郵便局

緑ヶ丘交番

緑ヶ丘公民館

ヒント...50周年記念誌 18 P



参道は、鳥居のあった場所から王子神社まで、約481mあり、途中には、橋もかかっていたとの事です。

- 4 - 1 福伝寺は、()14年(1637年)に建立されました。

寛永

元禄

天明

- 4 - 2 山門は、旧荻野山中陣屋の()を移設したものです。

桜田門

大手門

裏門

ヒント...50周年記念誌 19 P



福伝寺に隣接する県営文郷山団地の文郷山の「文」は「梵(僧侶の意)」で、僧侶の郷(むら)という意味があります。

- 5 緑ヶ丘5丁目にある榎(えのき)は、大山参詣の脇往還、林から愛名にかけて尼寺原を横断する()の目印として植えられました。

愛名海道

公所海道

鎌倉街道

ヒント...50周年記念誌 20 P



かつて、林2丁目から緑ヶ丘1丁目辺りの字名は「愛名海道」と言われていました。

近代

1 大正12年9月1日 地震 正午の記録では、「正午から震動して、夜まで()の振動」がつつきました。

数回

数十回

数百回

ヒント...50周年記念誌 2 2 P

2 大正13年 地震続きでは、「()、午前5時半ごろ、12年9月1日の地震の如くなり」と記録にあります。

1月17日

1月15日

3月11日

ヒント...50周年記念誌 2 2 P



大きな地震は、1回のみならず、同等規模の地震や長期に渡る余震が来ますので、注意しましょう。

3 緑ヶ丘の開発は、()に神奈川県住宅公社が計画しました。

昭和21年

昭和36年

昭和45年

ヒント...50周年記念誌 2 3 P

4 昭和36年に、神奈川県住宅公社は、地主との売買契約を坪単価()円で成立しました。

1,000

2,000

3,000

ヒント...50周年記念誌 2 4 P



当時、開発候補地として、尼寺原台地(現在の緑ヶ丘地区と周辺)と愛甲台地(現在の南毛利中学校付近)が候補に挙がっていました。

- 5 当初、入居された方には色々なご苦労がありました。第1に()、第2にスーパーマーケットや専門店などの購買施設、第3は、幼稚園、学校、医療機関などの公的機関への不便もありましたが、将来への発展や第二のふるさとへの希望であふれていました。

環境保全

通信環境

交通機関

ヒント...50周年記念誌 2 6 P



その後、緑ヶ丘地区の開発が、公団、公社、民間事業者などの手によって鳶尾、毛利台、宮の里、森の里などの大規模開発へとつながりました。

- 6 バスの乗入れについては、昭和37年の尼寺原線開通に伴う本厚木 - 厚木自動車部品前(現:日立アステモ厚木)まで()円でした。

20

80

100

ヒント...50周年記念誌 2 7 P

- 7 通学バスについては、当初、学区が()であったため、厚木市初の通学バスとして緑ヶ丘団地と学校間の運行がなされました。

小鮎小学校

緑ヶ丘小学校

南毛利小学校

ヒント...50周年記念誌 2 8 P

- 8 昭和38年に尼寺原団地()地区自治会(現:緑ヶ丘1丁目自治会)と西部地区自治会(現:緑ヶ丘2丁目自治会)が結成されました。

東部

南部

北部

ヒント...50周年記念誌 3 1 P

9 令和4年4月1日現在は、()自治会があり、地域の生活環境の向上と住みよい地域づくり等をめざし、市と地域の太いパイプ役として地域に貢献していただいています。

3

5

7

ヒント...50周年記念誌32P

緑ヶ丘地区にまつわる唄

1 昭和46年6月に、自費で()が制作されました。和太鼓やギターなどの楽器、音響機器、歌やコーラス総てが手作りで、レコード化をしました。

雨の緑ヶ丘

緑ヶ丘慕情

緑ヶ丘音頭

ヒント...50周年記念誌14、34P



作詞は緑ヶ丘4丁目の佐藤邦男さん、歌は当時、緑ヶ丘2丁目在住の元歌手でシナリオ作家のジェームス三木(山下 清泉)さん、広田清美さん、コールナナリィさん、音響設備は緑ヶ丘4丁目の大沼優さんなど、緑ヶ丘地区にお住まいの方やかかわりの深い方々で自費制作されました。

2 「浜辺の歌」を作詞したのは、()で、王子にある県立東高等学校(現・県立厚木王子高等学校)の校歌も作詞しており、校庭には昭和52年卒業生が寄贈した歌碑が建立されています。

山田 耕筰

さとう はちろう

林 古溪

ヒント...50周年記念誌36P

3 「夕焼け小焼け」の作詞者は、()で、県立厚木東高等学校(現・県立厚木王子高等学校)で教鞭をとっており、厚木市では、夕方、防災行政無線で全市に時刻を告げています。

野口 雨情

中村 雨紅

中山 晋平

ヒント...50周年記念誌37P